

校内研だより



令和4年11月25日(金)
研究推進部
No.21

1 第8回校内研究会（研究授業⑥）

(1) 日時 11月30日(水) 13:35~16:00

(2) 研究会場 1年1組 教室

(3) 単元名 生活科「じぶんのできるよ」

(4) 当日の進行

13:35 研究授業 1年1組 教室 授業者 黄田 信治 主任教諭

授業記録(全体) : (分科会)

授業記録(抽出児) : (分科会)、(分科会)

カメラ記録 : 松本

14:40 研究協議会 司会: 川戸 協議会記録: (分科会)

・挨拶、講師紹介: 校長

・分科会提案: 中堀

・自評: 黄田

・協議

ジャムボードを使いながら、それぞれに出た視点ごとに協議をお願いします。

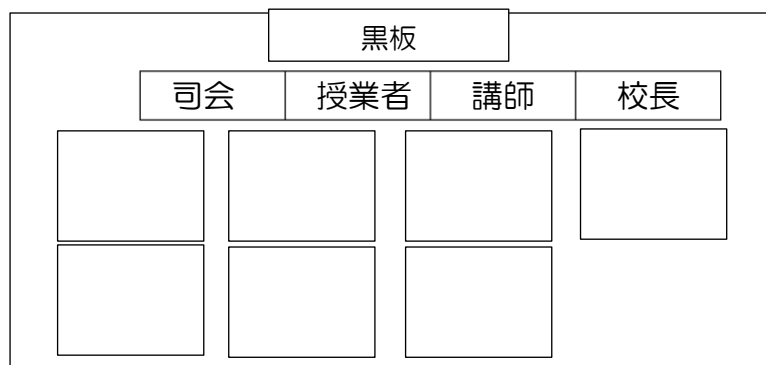
良かった点、課題・改善点、疑問点、質問など

15:20 指導講評

講師 石橋 昌雄先生 (元・全国小学校社会科研究協議会会長、立正大学社会福祉学部 子ども教育福祉学科教授)

16:00 謝辞: 副校長

(5) 会場図(5年1組教室) ※協議会は、児童の机で行う。



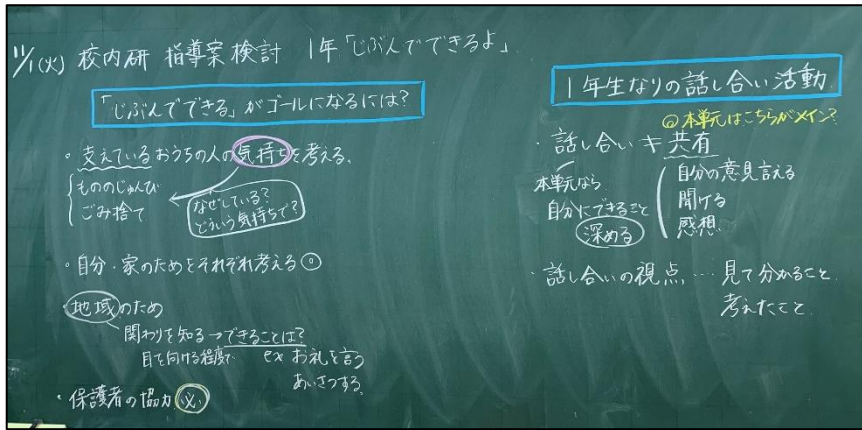
当日、席替えします。
お楽しみに!

(6) 参観の視点

- ・「自分でできる」がゴールになるには?
- ・1年生なりの話し合い活動とは?
- ・昨年度の実践と変えた部分についてはどうだったか?

☆本当の意味で「自分でできる」に向けてチャレンジです!

(7) 事前検討会 (11月1日・火)



年内最後の研究授業となります。1年生がどんな学びをしていくとよいか、みんなで考えていきましょう。当日も、よろしくお願いします。

2 その他

☆実践が終わった学年から研究紀要の作成をお願いします。

☆振り返りについて学年で話してみてください。

☆ペーパーレス活動にご協力をお願いします。

☆ 30日(金) 校内研究会⑧ (研究授業⑥1年生) *研究だより①*

☆ 12月 7日(水) B部会

☆ 21日(水) B部会

☆ 冬休み中 すきかつ

☆ 1月12日(木) 校内指導案検討 (3年生)

☆ 27日(金) 校内研究会⑨ (研究授業⑦3年生) *研究だより②*

4 指導案

第1学年 生活科学習指導案

日時 令和4年11月30日(水)

(5校時 13:35~14:20)

対象 1年3組 34名

授業者 黄田 信治

場所 1年1組 教室

1 小単元名 「じぶんで できるよ」

2 小単元の目標

家庭生活について調べたり尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようにする。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭生活について調べたり、家族のためにできることを実践して伝え合ったりする活動を通して、家族の大切さや家族が互いに支え合っていることが分かっている。	家庭生活について調べたり、家族のためにできることを実践して伝え合ったりする活動を通して、家族のために自分ができることを考え、伝えている。	家庭生活について調べたり、家族のためにできることを実践して伝え合ったりする活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

4 本小単元で目指す「社会とつながり未来を創る子供」の姿

本小単元は、家庭生活について調べたり尋ねたりすることを通して、気付いたことやよかったことについて、児童一人一人が自分事として振り返る機会となっている。家庭の温かさや家の人のよさ、自分のよさや役割など、さらには、学校でも互いに支え合っていること、地域でも互いに支え合っていることへの気付きを児童の発言から引き出せるようにする。そして、共感し合うことで、「こんなことができるようになりたい。」「もっと続けたい。」という次の意欲へとつなげていく子供の育成を目指す。

5 教材について

本小単元では、家庭生活に対しての「個々の気付き」を大切に扱いたい。自分の生活や家族の生活を振り返らせたり、話し合わせたりする。そのことを通して、自己の振り返りからたくさんすることに気付いたり、子供同士の交流を活発に行ったりすることができるようにする。授業外の活動となる家庭でのインタビューや実践(手伝い)などに対しては、比較的協力的な家庭が多いといえるが、活動の時期が長期休業期間ではなく、平日を含むため、子供の活動には差が見られることが考えられる。また、家庭での子供の取り組みについては、家庭の事情を配慮する必要がある。小単元の学習が終了後に冬休みを迎えるので、学習で気付いたこと、やってみようと思意欲をもったことに関して、実践の場につながるのではないかと考えた。

6 都小社研の研究内容との関連

(1) 主体的に問いを追究する学習問題の工夫

「である」段階で、児童一人一人の生活と、それぞれの家族の生活を比べ、思ったことや気付いたことを全体で共有することで、家の人たちや学校で働く人や友達、地域の人々はたくさんのことを行っていることや、自分ができることは何かについて、想像を膨らませることができるようにする。

(2) 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

「かかわる」段階では、「家族を喜ばせるために自分ができることは何か」を考え、個々が実践することの計画を立て、1回1週間の2回に渡り、繰り返し実践させる活動を設定する。それぞれの家で実践ができるよう、家庭にも事前をお願いをした。実践、振り返りの試行錯誤を重ねることで、気付きの質を高めたり、新たな計画を考えたりすることができるようにする。「たかめる」段階では、2回の実践を通して気付いたことや思ったことを意見交換して、家族を喜ばせるために自分ができることや続けていくことについて、さらには、学校での自分の役割、地域での人々との関わり方について考えることができるようにする。

(3) 子供の学びを確実にする評価の工夫

毎時間、話し合いや振り返りについての視点を明確に提示したり、板書やワークシートを活用したりすることで、活動を通して得られた感覚や気付きを想起させ、自分の思いに気付かせたり、気付きの質を高めたりできるようにする。

7 本実践の教材のウリ

【児童の気づきを高めるワークシート】

1年生に適切な分量で、後から見た時にも振り返りがしやすいワークシートを作成し、活用することにより、児童が意欲的に課題に取り組むことができる。

じぶんの1にちをしらべよう!

1ねん くお ぼん なまえ

じぶんが、あさおきてから、よるおるまで、していることをかこう。

あさ (おはようから)	
ひる (学校で)	
よる (おやすみから)	

ひろがれえがおだいさくせん どの1

1ねん くお ぼん なまえ

じぶんがかんがえださくせんは・・・

あうのひとわりのこと

ひらがれえのお話を
よく聞いてみましょう。

ひげ	やったこと	さがつけたこと・おもったこと	あうのひとわり
			😊😊😊
			😊😊😊
			😊😊😊
			😊😊😊
			😊😊😊
			😊😊😊

1しょうかんのさくせんをありがたかっておもったこと・さがつけたこと

1ねん くお ぼん なまえ

☆こんなこと やってみたい☆

【伝え合い、振り返りの視点の明確化】

伝え合いや振り返りをする際に、

- ・見て分かったこと。
- ・聞いて分かったこと。
- ・友達の意見を聞いて、考えたこと。

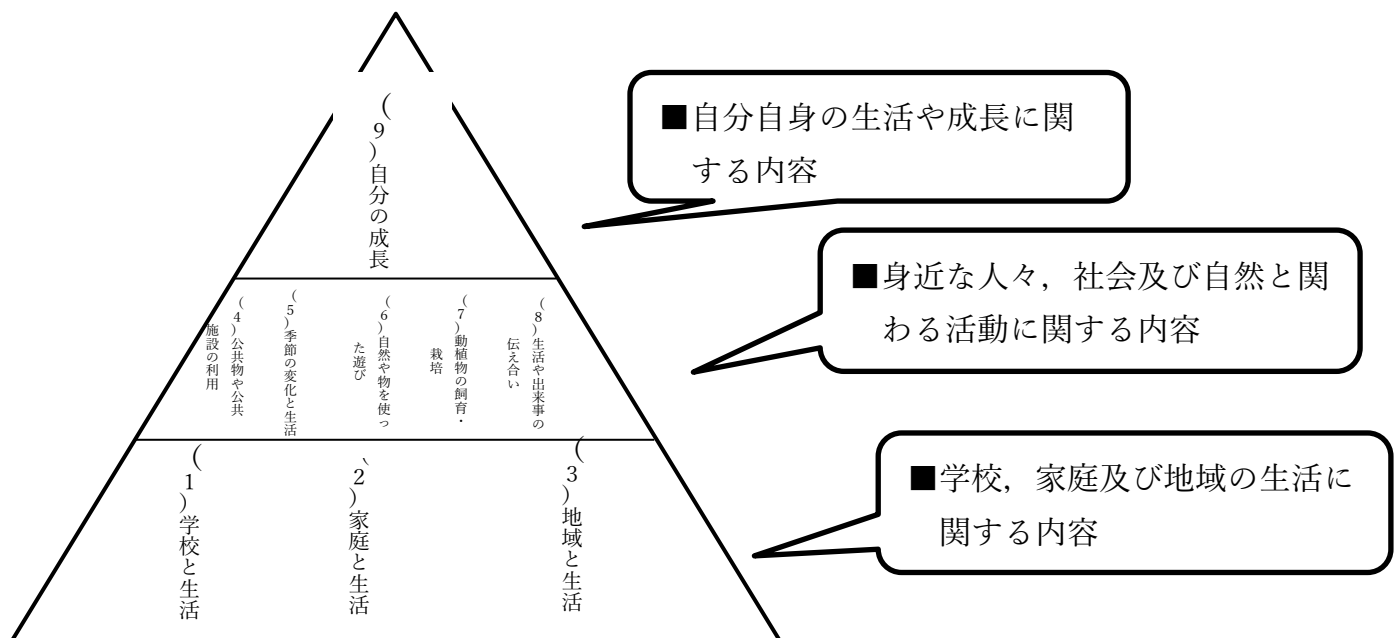
の視点に分けて、生活科だけでなく、毎時間の授業で取り扱うことで、児童の話し合いや気づきの質を高めることができる。

8 小単元の構想

【学習指導要領の位置付け】

- 学校、家庭及び地域の生活に関する内容
- (2) 家庭と生活

家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができ、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。



9 小単元の指導計画（全12時間）

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動 ・ 予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て	
であう	自分の一日を振り返り、一日の内容に関心をもつ。①	○自分の一日の生活を振り返り、ワークシートに書き表す。 ・朝…顔を洗う、歯を磨く、朝ご飯を食べる等 ・昼…学校(勉強、係、遊び、給食、清掃等) ・夜…(学童)、宿題、テレビ、夜ご飯、お風呂、明日の用意等 ○本時の振り返りをする。 ・一日の中で様々なことをしていることに気付く。	◎「じぶんの1日をしらべよう」 □朝、昼、夜に分けて振り返らせ、時間的な経過を意識しながら生活を振り返ることができるようにする。 【態度】ワークシートの記述から「自分の生活を振り返っているか」を評価する。	
	自分の一日を友達と話し合い、様々な人に支えられて暮らしが成り立っていることに気付く。②	○自分の一日の生活を友達と共有し、気付いたことを伝え合う。 ・同じことをしているね。 ・夜ご飯を食べる前に、宿題をしているんだね。 ・習い事をしていてすごいね。 ○家の人が普段何をしているか、想像を膨らませる。 ・自分が寝た後は、何をしているのだろう。 ・洗濯はいつやっているのだろう。 ○学校で働く人や友達、かかわりのある人たちが何をしているか、想像を膨らませる。 ・朝、門で立って挨拶している人はだれだろう。 ・給食はだれがいつ用意してくれているのだろう。 ・授業に必要なものを買っているのはだれだろう。 ○本時の振り返りをする。 ・自分たちの暮らしには、様々な人の支えがある。	◎「じぶんの1日をしらべて…」 □自分の一日の生活について振り返り、家の人やかかわりのある人たちがどんなことをしているか、調べようとする思いを高められるようにする。 【態度】ワークシートの記述や発言などから「自分の生活を振り返り、家族とのかかわり、周りの人たちとのかかわりについて考えようとしているか」を評価する。	
	家族との関わりについて関心をもつ。③	○自分の生活を基に、自分の暮らしを一番支えてくれている家族は、どんな生活をしているのか予想する。 ・朝、夜のご飯を作ってくれている。 ・お風呂を掃除して、気持ちよく入れるようにしてくれている。 ・洗濯をして、毎日きれいな服が着られるようにしてくれている。 ○おうちの人にするインタビューの練習をする。	◎「おうちの人の1日をしらべよう」 □課外の家でのインタビューに向けて、事前に家庭への協力を呼びかける。 【態度】ワークシートの記述や発言などから「自分の生活を振り返り、家族とのかかわりについて考えようとしているか」を評価する。	
	[課外]「おうちの人の1日をしらべよう」を基に、家族の一日を観察・インタビューする。			
	家族の生活について調べたことを発表し合い、家族の生活の大まかな様子が分かる。④	○家族の生活について、調べて分かったことを発表し合う。 ・夜遅くまで仕事をしている。 ・学校に行った後に、家の人買い物や洗濯、掃除をしている。 ・自分の学校の用意や、宿題の確認をしている。 ○本時の振り返りをする。	◎「おうちの人の1日をしらべよう」 【知・技】ワークシートの記述や発言から「家の人生活の調べ、家族の生活の大まかな様子が分かっているか」を評価する。	

	<p>自分の生活と家族の生活を比べて、その違いを考え、自分の生活が家族に支えられていることが分かる。⑤ (本時)</p>	<p>○自分の生活と家族の生活を比べて、分かったことを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人は一日中働いている。家の仕事も多い。 ・会社で働いているのは、家族のためだ。 ・自分は、自分のことしかしていない。 <p>○伝え合いで考えたことを発表し、振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人って大変だ。自分も何かしないと。 ・家の人が好きことって何だろう。 	<p>◎「じぶんの1日をしらべよう」 ◎「おうちの人の1日をしらべよう」</p> <p>□仕事の内容に着目させ、誰の何のための仕事か考えられるように声をかける。</p> <p>□ワークシートを比較させ、自分と家族の生活の違いを考えられるようにする。</p> <p>【思・判・表】ワークシートの記述や発言から「自分の生活と比較しながら、家の人々の生活を調べ、その違いを考えているか」を評価する。</p> <p>【知・技】ワークシートの記述や発言から「自分が家の人に支えていることに気付いているか」を評価する。</p>
	<p>家族のために自分ができていることを考える。⑥</p>	<p>○家族のために自分ができていることを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを自分でしっかりする。 ・家の仕事を一緒に行う。 <p>○意見を出し合い、挑戦することを理由を付けて決め、ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人が大変そうだから、お風呂掃除をしてみようかな。 ・朝、起きられなくて、迷惑をかけているから、決まった時間にちゃんと起きよう。 	<p>◎「そうだんカード」</p> <p>□前時の気付きを生かし、自分も家族のために何かをしたいという気持ちを高めていく。</p> <p>□生活を振り返りながら、具体的な内容を2つ考えさせ、その後、家の人と相談して決定する。</p> <p>□友達の実践を共有することで、自分にも取り入れられるようにする。</p> <p>【思・判・表】ワークシートの記述から「家族のために自分ができていることを決め、計画を考えているか」を評価する。</p>
か か わ る	<p>[課外] 仕事内容を、家の人と相談して決めてくる。</p>		
	<p>家族に聞いてきたことを基に、仕事の計画を立てる。⑦</p>	<p>○家族から聞いたことを伝え合う。</p> <p>○家族や友達の話の基に、仕事の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事のポイント ・時間 ・家族に喜んでもらえること 	<p>◎第1回「ひろがれ えがお だいさくせんカード」</p> <p>【思・判・表】ワークシートの記述から「家族のために自分ができていることを決め、計画を考えているか」を評価する。</p>
	<p>[課外] 第1回「ひろがれ えがお だいさくせん」 1週間実践する。 毎回、「やったこと」と「振り返り」を書く。保護者には、最後にコメントをもらう。</p>		
	<p>実践してきたことを紹介し合い、自分の成長や自分の役割、家族と交流することの</p>	<p>○第1回「ひろがれ えがお だいさくせん」を振り返り、実践したことや気付いたことを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役に立ててよかった。 ・あまりできなくて、残念だった。 ・もっと上手になりたい。 	<p>◎第1回「ひろがれ えがお だいさくせんカード」</p> <p>【知・技】ワークシートや発言から「自分でできることの喜びや自分の役割、家族と交流す</p>

	よさや楽しさに気付く。 ⑧	○第2回に取り組むことを考える。 ・別の仕事に挑戦しようかな。 →いろいろ えがお だいさくせん ・仕事のレベルを上げてみようかな。 →おとくい えがお だいさくせん ・回数を増やしてみようかな。(日常化) →まいにち えがお だいさくせん	ることよさや楽しさに気付いているか」を評価する。 【態度】 発言などから「家族の役に立ちたいと、自分ができることを考え、繰り返し取り組もうとしているか」を評価する。
	第2回の「○○ えがお だいさくせん」で取り組むことを決める。⑨	○第1回の振り返りを基に、もっと笑顔が広がるために取り組むことを考える。 ・もっと、せんとくものをたたむのが上手になりたい。 ・違うことをしたら、もっと喜んでもらえるのでは。 ○第2回の計画を友達と共有する。	◎第2回「○○○ えがお だいさくせん そうだんカード」 <input type="checkbox"/> 1回目と2回目を変えてもよいことを知らせる。 <input type="checkbox"/> 選んだ理由をはっきりさせる。 【思・判・表】 ワークシートの記述から「自分の実践を振り返りながら、家族のために自分ができることを決めているか」を評価する。
[課外] 仕事内容を、家の人と相談して決めてくる。			
	家族に聞いてきたことを基に、仕事の計画を立てる。⑩	○家族から聞いたことを伝え合う。 ○家族や友達の話の基に、仕事の計画を立てる。 ・仕事のポイント ・時間 ・家族に喜んでもらえること	◎第2回「○○○ えがお だいさくせんカード」 【思・判・表】 ワークシートの記述から「家族のために自分ができることを決め、計画を考えているか」を評価する。
[課外] 第2回「○○○ えがお だいさくせん」 1週間実践する。 毎回、「やったこと」と「振り返り」を書く。保護者には、最後にコメントをもらう。			
たかめる	実践してきたことを紹介し合い、自分の成長や自分の役割、家族と交流することのよさや楽しさに気付く。 ⑪	○第2回「○○○ えがお だいさくせん」を振り返り、実践したことや気付いたことを伝え合う。 ・仕事をして思ったこと ・仕事のコツ ・家族の様子やかけてくれた言葉 ・1回目と比べて変わったことと同じだったこと ○自分の実践や友達の実践を聞いて、思ったことや気付いたことを伝え合う。 ・ありがとうと言われてうれしかった。 ・仕事をしたら気持ちがよかった。 ・これからも続けていきたい。	◎第1回、第2回「○○○ えがお だいさくせんカード」 ◎ひとりのできるよせんげん <input type="checkbox"/> 第1回と比較するように声をかける。その際、第1回と比べて、成長したと思ったことや、家庭生活とのつながり等について気付かせるよう、声をかける。 <input type="checkbox"/> 自分の仕事や頑張りが、家族を笑顔にすることに気付かせ、今後も続けていこうとす

	<p>○今後も続けていきたいことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前より仕事が上手になりたい。 ・もっと家族の力になりたい。家族を助けたい。 ・もっと他のこともしてみたい。 	<p>る意欲を高める。</p> <p>【思・判・表】 発言などから「活動前の自分と今の自分を比べて、できるようになったことを考え、伝えているか」を評価する。</p> <p>【知・技】 発言などから「自分が家族の大切な一員であることに気付いているか」を評価する。</p>
<p>これまでの仕事を振り返り、自分が家族の大切な一員であることに気付くとともに、家庭だけでなく、他にも自分たちができることを考える。</p> <p>⑫</p>	<p>○第3時に話し合った「自分の暮らしを支えてくれる人」を振り返り、自分には、その人たちのために、どんなことができるのか想像を膨らませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全ボランティアさんたちに、元気にあいさつしたいな。 ・いつもごみを集めてくれている人に、「ありがとうございます。」って伝えたいな。 ・給食を残さず食べたいな。 <p>○「こんなことやってみたい」のワークシートを記入し、発表し合う。</p>	<p>◎今までのワークシート</p> <p>◎こんなことやってみたい</p> <p>□小単元の学習全体を振り返り、今の自分と比較できるように促す。</p> <p>【態度】 ワークシートの記述から「自分が家族の役に立っていることを実感し、これからも自分の家庭での役割を意識するとともに、自分とかかわる人たちを大切にしていこうとしているか」を評価する。</p>

10 本時の学習（5/12時間）

（1）本時のねらい

自分の生活と家族の生活を比べて、その違いを考え、自分の生活が家族に支えられていることが分かる。

（2）本時の展開

	○主な学習活動 ・ 予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
導入 5分	○自分の生活と家族の生活について、これまで出てきた内容を振り返る。 (自分) ・ゲームをする。 ・歯磨きをする。 (家族) ・夜遅くまで仕事をしている。 ・洗濯物を干してくれている。	◎「うちのひとの1日をしらべよう」 □自分のことと家族のことを分けて、分類しておく。
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> じぶんとかぞくの せいかつを くらべてみよう。 </div> <p>○自分の生活と家族の生活を比べて、分かることを伝え合う。 (同じこと) ・ご飯を食べている。 ・お風呂に入る。 (違うこと) ・洗濯物を干している。 ・ご飯をつくっている。 ・学校に行っている間、仕事に行っている。 ・学校に行っている間、家のことをたくさんしている。</p> <p>○伝え合いを基に、考えたことを話し合う。 ・一緒にご飯を食べている。 ・ママは、家のことをたくさんしていて忙しそうだな。 ・仕事から帰ってくるのが遅いから、なかなか遊べないな。 ・自分は、ほとんど自分のことしかやってないな。 ・どうやって自分で起きているのだろう。 ・どうしてこんなに自分以外のことをやっているのだろう。</p>	<p>◎「じぶんの1日をしらべよう」 「うちのひとの1日をしらべよう」</p> <p>□ワークシートを比較させ、自分と家族の生活の違いを考えられるようにする。</p> <p>【思・判・表】 ワークシートの記述や発言から「自分の生活と比較しながら、家の人の生活を調べ、その違いを考えているか」を評価する。</p> <p>□自分には、何ができるのだろうかという視点で、話し合いを終われるようにする。</p>
終末 5分	○本時の振り返りをする。 ・家の人って大変だから、何かできるかな。 ・みんなで遊べる時間をもっとつくりたいな。	【知・技】 ワークシートの記述や発言から「自分が家の人に支えていることに気付いているか」を評価する。